

海業×PPPで三浦市にあこがれを創る取り組み

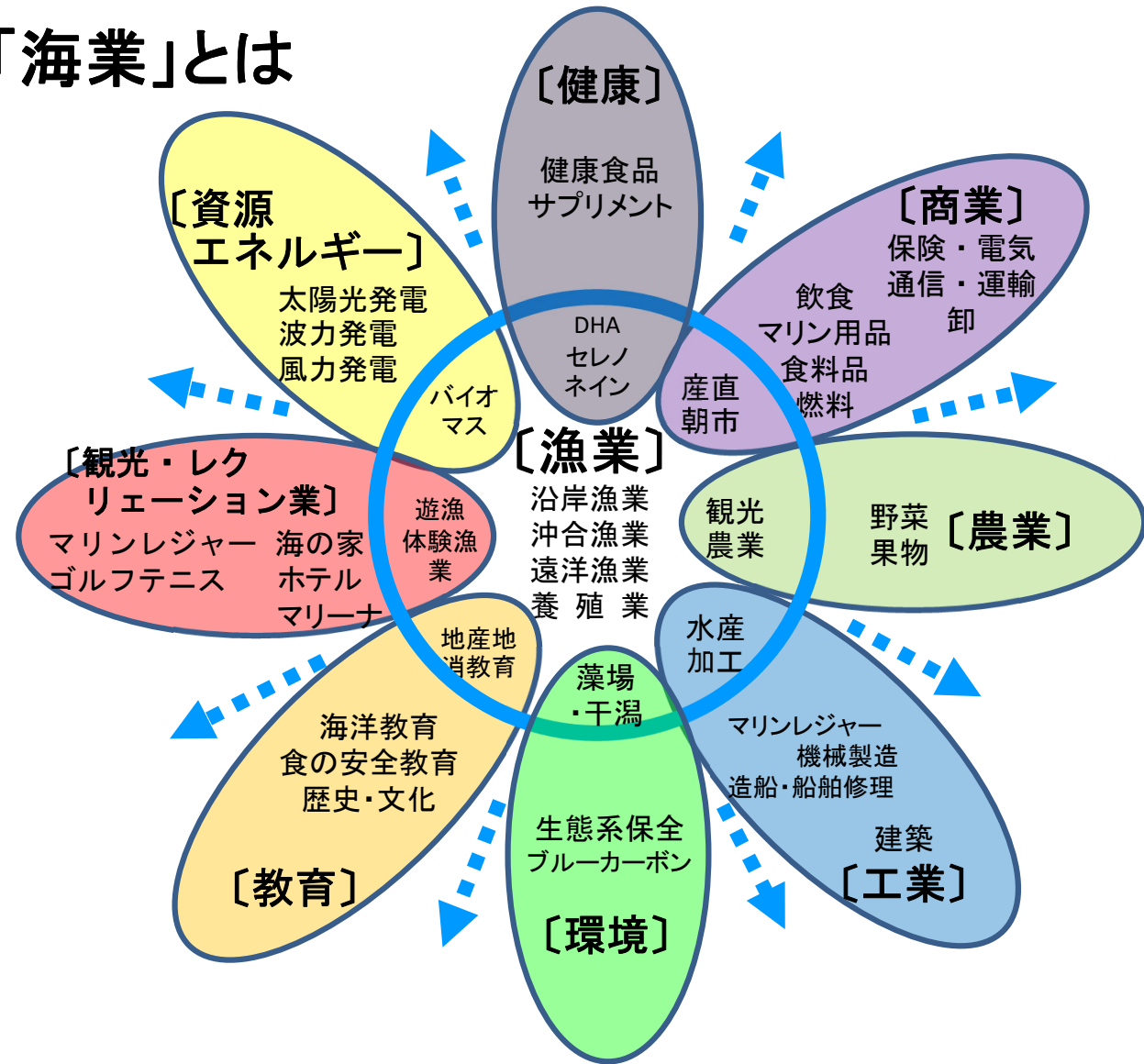


三浦市市長室長 徳江 卓

- 海業は、昭和60年（1985年）に当時の久野市長による造語で、地域活性化のキーワード
- 令和4年（2022年）国の水産基本計画等において「漁村の人々が海や漁村に関する地域資源の価値や魅力を活用して所得機会の増大等を図る取り組み」を示す言葉として使用

- 三浦市の海業とは、海の持つ多様な価値や潜在能力を経済活動の対象とする産業群や業種の集まりの総称を示すもの

「海業」とは



三崎フィッシャリーナウォーフ(うらりマルシェ)



海業の展開

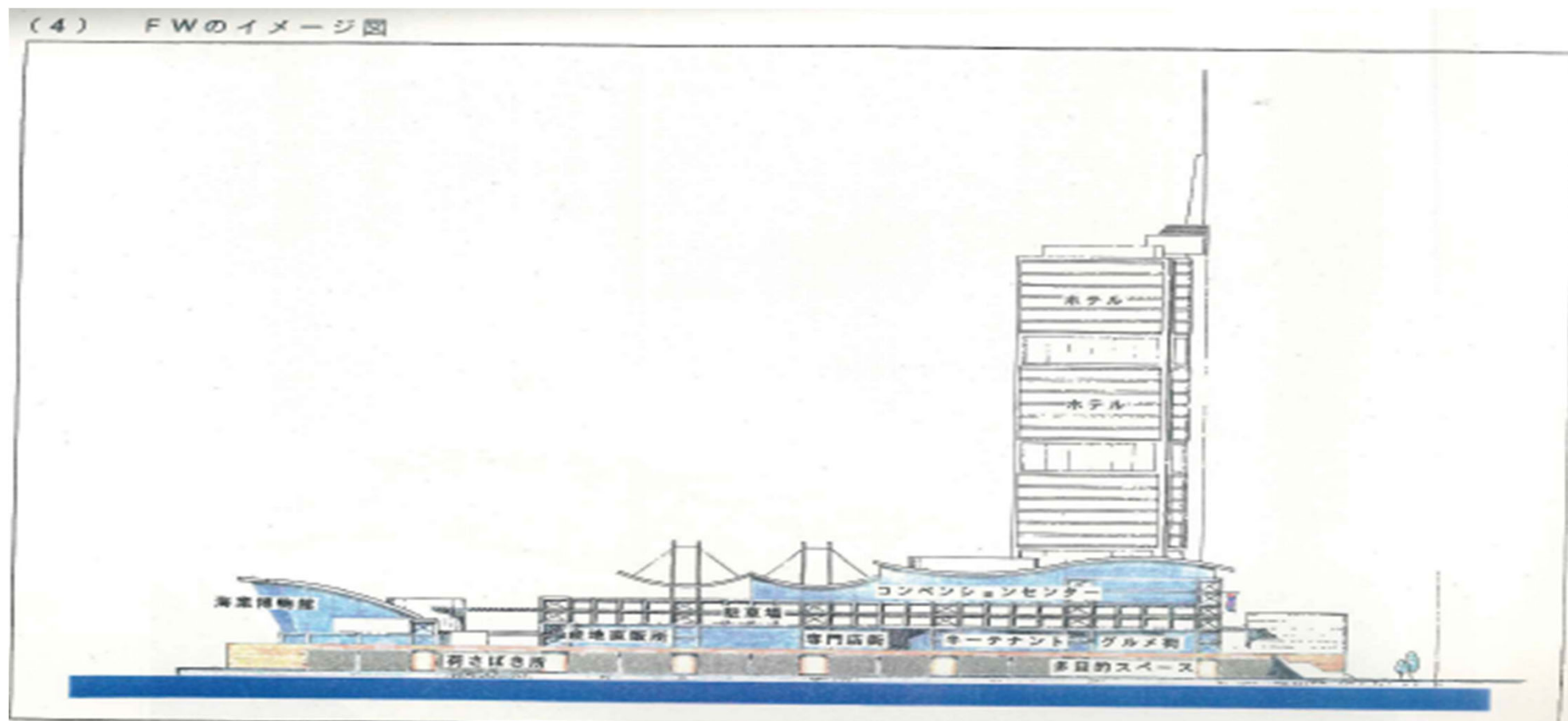
三浦三崎・城ヶ島

パソコンから施設名称などの四角枠をクリックすると案内が表示されます！

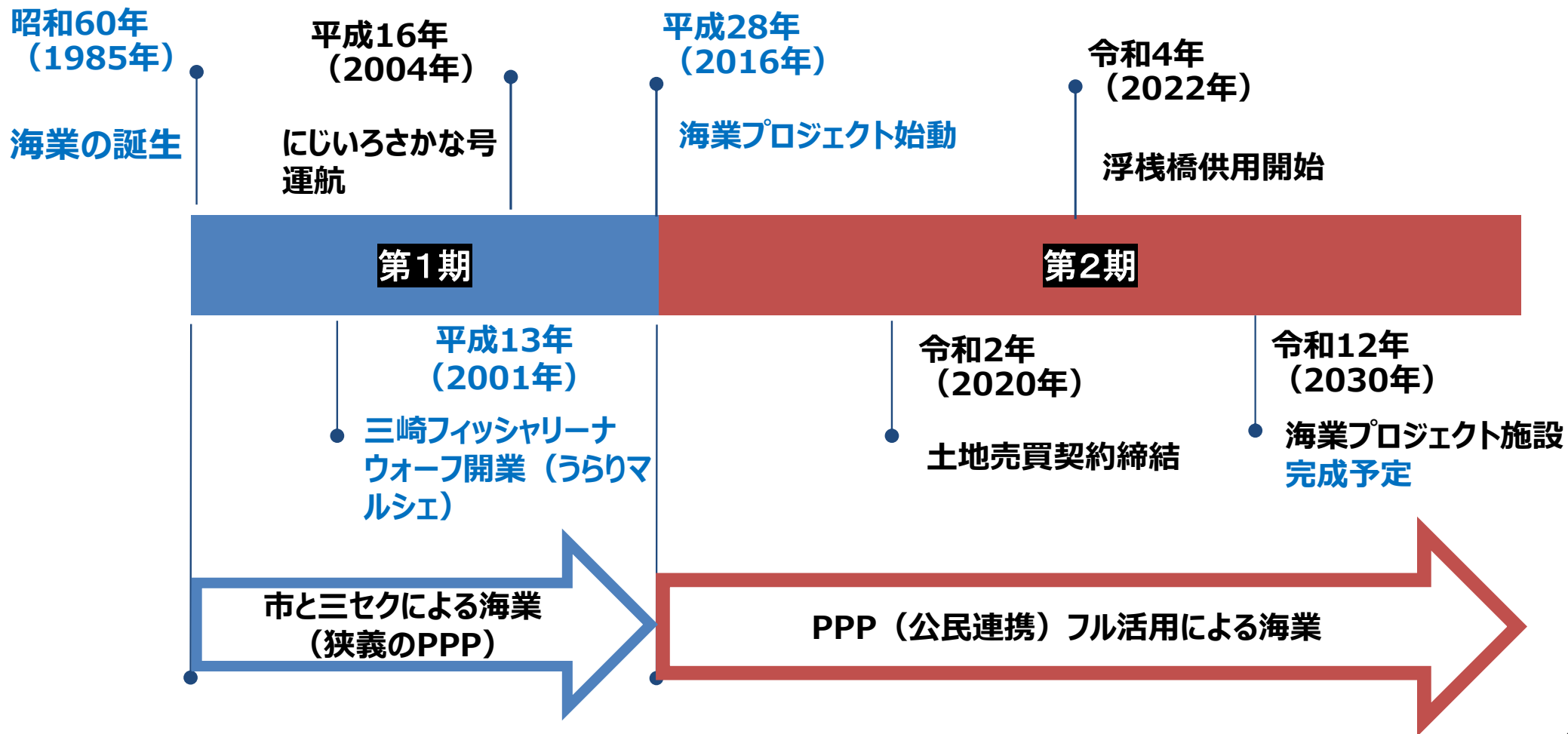
うらりマルシェ案内図



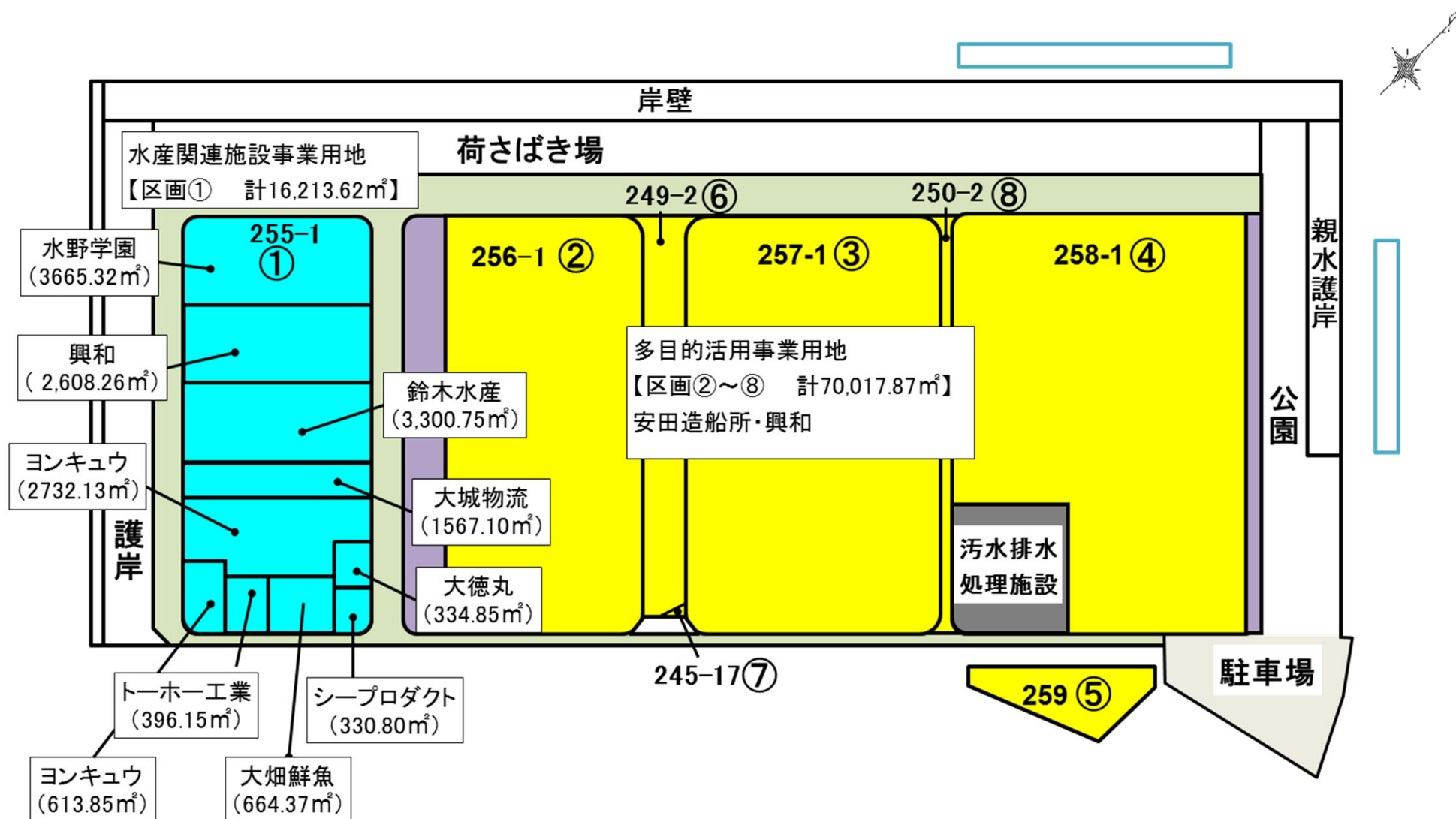
FWイメージ図



海業の振興 第1期・第2期



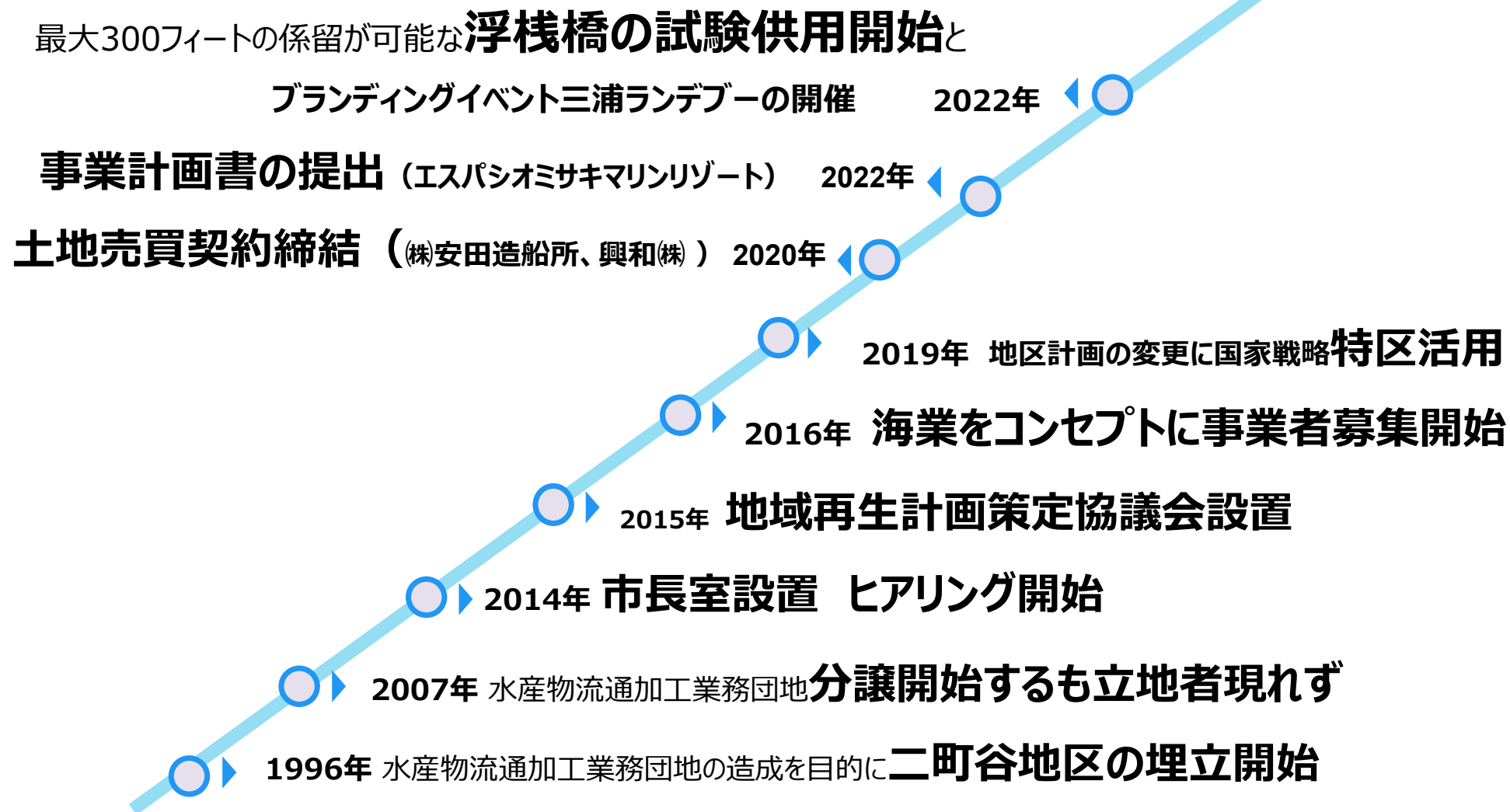
二町谷地区埋立地の立地状況(令和5年12月1日現在)



海業プロジェクト事業用地(二町谷地区埋立地とは)

- 水産物流通加工業務団地として埋め立て（用地面積約8.7ha）
- 水産加工施設用地として、市内に点在していた水産加工場などの集積のために、平成8年（1996年）から埋め立てに着手、平成19年（2007年）から分譲開始
- 埋め立てが長期化した間に、リーマンショック、原油の高騰などに見舞われ、進出を予定していた事業者が立地しない状況に
- 企業誘致活動（ヒアリング等）により、海際のロケーションを活用したリゾート施設などの活用可能性が見えてきた
- 用途を変更し、海業プロジェクトの事業用地とするにあたっては、県営漁港であり、外郭施設の整備等に国庫補助事業を活用しているため、水産庁、神奈川県との協議を重ねた。
- その結果、4区画のうち1区画を水産関連施設用地、3区画を多目的活用事業用地とすることを決定、海業の振興を目的として平成28年（2016年）に事業者募集を実施
- (株)安田造船所（東京都京浜島）、興和(株)（名古屋）の合併会社エスパシオミサキマリリゾート(株)により、エスパシオブランドのホテル、ヴィラ、コンドミニアム、商業施設等が整備される予定

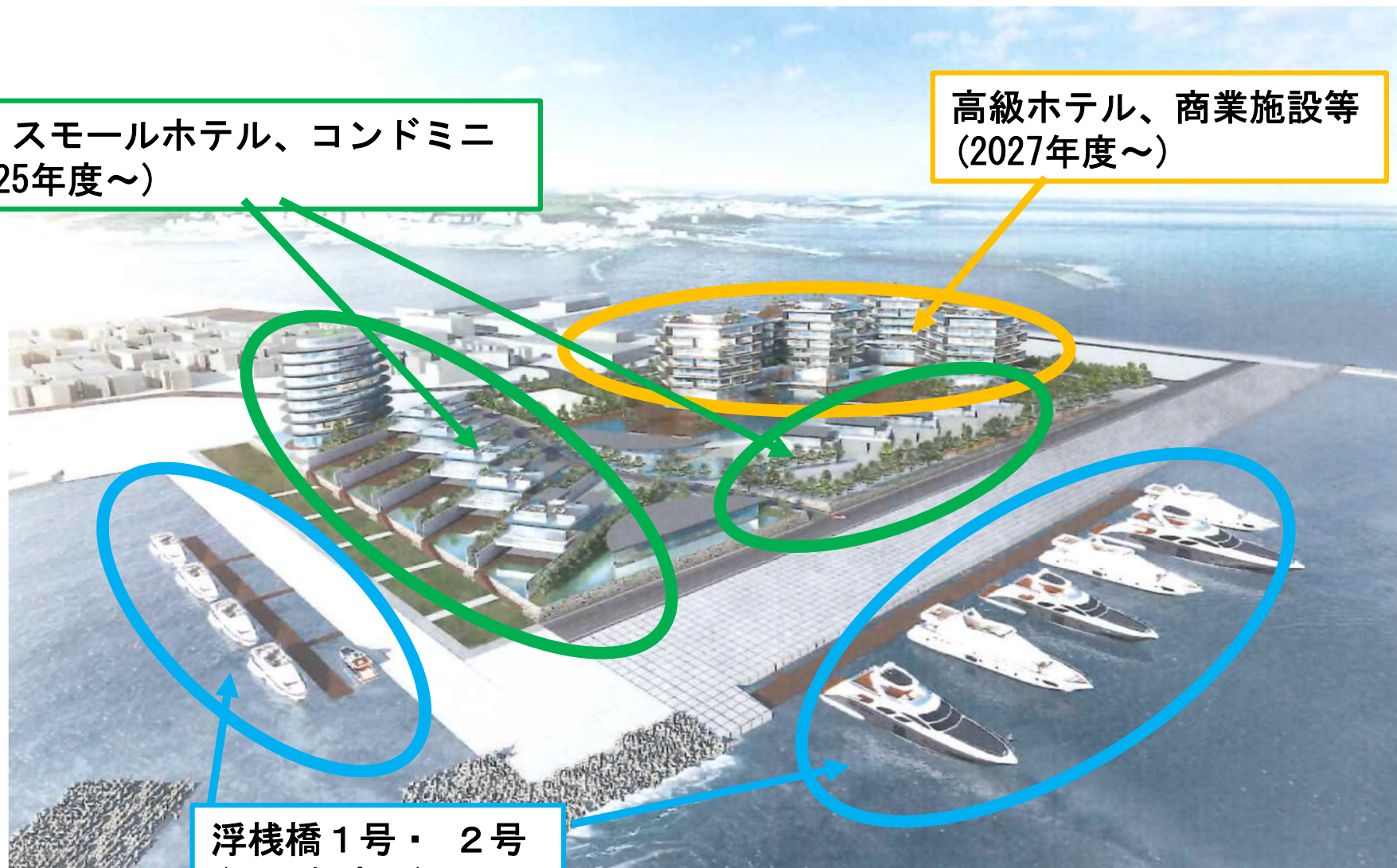
海業プロジェクトの経過(抜粋)



海業プロジェクト (イメージ図)

ヴィラ、スモールホテル、コンドミニアム (2025年度～)

高級ホテル、商業施設等
(2027年度～)



浮桟橋 1号・2号
(2021年度～)

海業プロジェクトにおけるPPPの強み

海業で
弱みを強みに

民間のアイデアで土地の弱みを強みに変える

民間の財力を
活用

自治体では成し得ない規模の事業が展開される

双方の利益
最大化

連携協議しながら進めていくため、双方の意見をいかなせる

海業×PPPによる効果

地域産業の
活性化

農業、漁業、観光業の活性化(消費拡大や新たな観光客層の創出等)につながる

シビックプライド
の醸成

富裕層のあこがれは、市民にシビックプライドを醸成する

人口減少への
アプローチ

ホテルや商業施設の整備は、働く場所が少ないことの解消につながる

海業プロジェクトの汎用性(要件は3つ)

海を生かせる
ロケーション

海際など海の魅力を活用で
きるロケーション

海業コンセプト

海業という幅広いコンセプト
で、アイデアの幅を広げる

PPP(公民連携)
の活用

PPPにより、民間のアイデア、
資力、実行力をフル活用

少しのノ
ウハウと
思いを
プラス

プロジェク
トの実現
地域の
活性化

三浦市のPPPによる企業誘致は3つの「創」によるマネジメント



創設

権限と情報を集中したワンストップのプロジェクト組織を創設

創造

プロジェクトを進めながら公民の最適な役割分担を双方で創造

創業

創設した組織、創造した役割分担のもとに、公民で事業環境を整え創業

3つの「創」をPPPで実行し官民双方の利益を最大化するマネジメントを実現
マネジメントの真価は実践。真価は理屈ではなく結果にこそ宿る(ドラッカー)
真価は三浦の活性化
理想は、立地も回り続けること

海業×PPPで三浦市に憧れを創出する

